

## 1 主催者あいさつ（環境担当部長）

本日は土曜日のお忙しい中この講演会にご参加いただきまして、厚く御礼申し上げます。

福島第一原子力発電所の事故による放射能問題については、墨田区としても区民の皆様の不安等に対応するため、東京都の調査を踏まえて区独自の調査を行いました。その結果がほぼ出揃ったところです。放射線量の観測については、これまで広域的には都道府県や大学で行われていたものの、区としては初めて直面する問題でありました。そのため、区には測定機器もなく測定結果の評価など専門的な知識もありませんでした。今回、東京都や葛飾の専門学校から測定機器の貸与や技術的アドバイスをいただけるということになり、区独自の調査も進めてきたところです。空気中の放射線量の測定については、東京都の測定を踏まえ、区では定点3公園で現在も継続的に行っております。その他、区全域を1キロメートルメッシュに区分した17区分の公園各1ヶ所所で測定しました。次に保育園、幼稚園、小・中学校ですが、保育園、幼稚園では園庭と砂場、小・中学校では校庭、砂場、プールサイドで測定しました。測定の高さについては、東京都を参考に、地表面5センチメートル、幼児・小学生を対象とする50センチメートル、中学生以上を対象とする1メートルの3つの高さで行いました。次に、測定データの考え方については、東京都から示されている1年間の積算線量の推計方法に基づき測定結果を評価・判断しております。また、小・中学校のプールの水の放射性物質の測定も行いました。

今回の測定を通して、区民の皆様の不安を解消するために、区としては正確な情報を提供すること、そして結果を正しく評価することが何よりも大切であると考えております。また、保育園・幼稚園・学校関係者の皆様には放射線に関する様々な情報に惑わされることなく、ある程度ご自身で判断できるようにしていただくことが大事であると考えております。放射線の人体への影響については、確定的な部分と確率的な部分、専門家でも意見が微妙に相違する部分があると聞いております。そこで、区議会からのご提案もあり、今回「放射線を正しく理解しよう」と題して、地域医療を担っていただいている都立墨東病院の診療放射線科部長・小山先生にご講演いただくことになりました。

最後になりますが、本日の講演会が皆様の放射線に関する不安解消につながることを心から祈念して、冒頭の挨拶とさせていただきます。